

前後四月に亘る善戦健闘は労働階級の記録的大勝を収めた
製鐵官民合同反対闘争の回顧と
強力新労働組合結成の急務

製鐵官民合同反対同盟顧問

伊藤藤知四郎

△すなわちさき労働階級の自主的組織に在る闘争の威力

前後四月に亘る製鐵官民合同反対運動は製鐵所全従業員の大々物的精神的犠牲と鉄の如く強力なる労働階級の一大結束を以て戦った製鐵所創設以来の最大大衆闘争であった。製鐵所の全工場は天竺従業員の自主的を闘争機関を作り、その中から送り出された八百名の代表委員は大衆として上京し当時閣會中の第六十四議會を直指して衆議院に貴族院に或は首相 蔵相 高相 海陸相その他関係要路の數十の大臣當面者に二萬数千名の製鐵所従業員が署名を調印し大衆鐵官民合同絶対反対の具體的理申を詳記した陳情書を突きつけ滯京五十数日下直つて火の様な猛運動が續けられたのであった。

地許に於ては、この長期間、製鐵所の全工場に亘つて夫々職場々々に闘争機關を設置して、小等も統一聯合と結成して製鐵官民合同反対同盟と緊密なる連絡を以て、全従業員は何時、如何なることを実行し得る組織と統制と準備とを持つておいた一大大衆運動であった。是れは完全な組織され、充分に訓練されてゐる労働組合と同様なる強力なる大衆闘争であった。地元と中央と上京委員団ととの緊密なる連絡、鋼鐵の如く統制、秩序ある運動全般に對しては亦政府並に福岡縣警務部は脅威に驚愕してゐたのである。この川だけの組織と統制があり、全従業員が一度何事か為さうと決心すれば如何なる事をも為し得るであつたの推測は一層縣警務部も感嚇してゐた。この美証は縣警務部が幹部を遣へて内務省と連絡するなりには下直つておいた。縣知事自身は上京して内務大臣警保局長と面談せしめ、取締りの打ち合せ、訓令も仰ぐ事案も立て現出されてゐた。又その後内相よりこの反対運動に總罷業を起すことが出来れば、斷固なる嚴重取締りの訓令が縣知事宛に發せられ、政府の全神経は悉くこの内相訓令に集注され、一朝、事あらうか、之に對抗する完全なる準備が出来てゐた大事業であつた。更に軍部當局は國防的見地から我國製鐵産業の大動脈となす製鐵所を極めて重視し萬一全従業員がこの運動を總罷業を以て戦ふならば直ちに軍部も動員する計画へ考慮されておいたと言ふ事、その後に至つて面談し及ぶのである。